

6 環境と共生する 美しく住みよいまち

令和4年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	環境保全対策事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	経済建設部 区画下水道課	課長名	山城 実	算	款	衛生費	04
連絡先	889-2508		科	項	保健衛生費	01	
目 標	環境と共生する美しく住みよいまち		目	目	環境衛生費	04	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	住民		くみ取り便所及び既設の単独浄化槽から合併浄化槽に転換する方に対し、浄化槽の設置に係る費用の一部を助成し、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止します。				
事業の内容	○環境保全対策事業費						
	予算額:	890 千円			342 千円		
事業の成果	決算内訳						
	1. 南風原町浄化槽設置補助金				332 千円		
	2. 沖縄県合併浄化槽普及促進市町村協議会負担金				10 千円		
内容							
	浄化槽設置補助に関する申請は1件でした。また、沖縄県合併浄化槽普及促進協議会に関しては、書面にて総会を行いました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	890	342	166			176	

令和4年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	環境保全対策事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	総務部 住民環境課	課長名	金城 直子	算	款	衛生費	04
連絡先	889-1797		科	項	保健衛生費	01	
目 標	環境と共生する美しく住みよいまち		目	目	環境衛生費	04	

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内全域(野犬等、そ族昆虫等、不法投棄)	野犬対策やそ族昆虫等の駆除、不法投棄の防止やその他苦情処理を行い、住み良い環境を維持します。

★ 環境保全の啓発・対策 210千円
 定期的に町内を巡回し、地域の環境状況の把握や環境関係の苦情処理、ごみの収集状況や不法投棄などに対処しました。また、不法投棄防止看板の設置等により違法行為の未然防止に努めました。



↑ 不法投棄された家電等



↑ 不法投棄された生活ごみ

業
の

★ そ族昆虫等の駆除
 ・ハチ対策
 町内で相談の多いハチの種類はミツバチ・アシナガバチがほとんどで、発生場所は自宅や歩道等がほとんどです。問い合わせがあった場合は、担当職員で現場を確認しアドバイスを行っています。

実

過去5年の苦情件数 (件)

年 度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
苦情件数	6	4	4	4	8

★ 狂犬病予防注射、犬登録関係経費 198千円
 狂犬病予防法に基づき、生後91日以上の子犬の飼い主には、その犬の所在する市町村への犬登録と年1回の狂犬病予防注射を受けさせることが義務づけられています。狂犬病は人と動物の共通感染症であり、発病するとほぼ100%死に至る恐ろしい病気です。そこで町では例年5月下旬～6月上旬頃、町内15カ所で狂犬病予防集合注射を実施し、接種率の向上に努めていますが昨年は新型コロナウイルス感染予防のため防集合注射実施できず個別で動物病院にて予防接種を受けるようご案内しました。今後も状況に応じて集合注射の実施若しくは個別接種のご案内を行って参ります。

内

容

(件)

年 度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
犬登録数	1,262	1,208	1,291	1,248	1,217
狂犬病予防注射数	721	759	502	767	789

次ページへつづく →

事業の概要



←狂犬病予防注射の様子

《野犬の捕獲》

野犬は、敷地内への侵入や人畜等への咬傷事故の危険を伴うことから、町で捕獲を行っています。飼い犬が捨てられ野生化したと思われる犬や、敷地から逃げた徘徊犬が野犬と間違われて捕獲される例が見られ、飼い主の自覚と責任が求められています。

《野良猫対策》

猫は、犬のように飼い主への登録義務がありません。しかし、敷地内へのふん尿や夜泣き等の苦情があった場合は、飼主や、野良猫へ餌付けをしている方へ指導や自治会を中心に取り組むTNR事業の支援等を行っています。



← 保護された犬、猫

★ その他環境保全に係る経費 10千円

環境保全の取り組みを推進するため、協議会や民間団体等へ負担金や補助金を交付しています。主な経費として沖縄県アジェンダ21県民会議等への負担金があります。

内容の成果

環境保全の啓発・対策では、不法投棄防止看板設置等により不法投棄の未然防止を図ることができました。また環境衛生では、犬の登録及び狂犬病予防注射を啓発・実施することで、人間を含め多くの動物への狂犬病感染の防止を図りました。さらに、登録されている飼い犬の生存・所在地確認等を行うことで犬の登録数を整理し、狂犬病予防接種率向上に努めました。また、野犬捕獲や野良猫対策として自治会を中心に取り組むTNR事業の支援等により、町民が住みよい快適な生活環境づくりを推進することができました。

予算の 執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	430	418				418	0

令和4年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	公害対策事業		予 算 科 目	会計	一般会計	01	
	部 課	総務部 住民環境課		課長名	金城 直子	衛生費	04
		連絡先			889-1797	保健衛生費	01
	目 標	環境と共生する美しく住みよいまち		環境衛生費	04		
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	町内全域 (騒音、振動、悪臭、大気汚染、水質汚濁等)		騒音、振動、悪臭、大気汚染、水質汚濁等の公害発生 の防止や他苦情処理を行い、住み良い環境を維持 します。				
事業内容	<p>★公害パトロール謝礼金、公害防止対策連絡協議会謝礼金 26千円 旧最終処分場跡地等に関する「那覇市・南風原町公害防止対策連絡協議会」を設置し、年に2回 (令和4年度は7月、1月)協議会を開催しました。さらに、公害防止等パトロールを周辺自治会長と隔 月で実施することにより、公害発生の有無を確認しています。公害対策のために他にも「公害対策審 議会」、「河川環境対策協議会」を設置しています。</p>						
	 		←パトロールの様子				
実施内容	<p>★国場川水系河川水質調査委託料 500千円 国場川水系の水質の実態を把握するため、国場川水系流域の市・町が合同で夏季(8月)・冬季(2 月)に調査を行い、これらの調査結果をもとに国場川水系の環境保全対策の基礎資料を得ることがで きました。また、合わせて町内の河川の水質の現況と年度ごとの変動を把握することができました。</p>						
	<p>・実施日 夏季(8月10日)、冬季(2月8日)</p> <p>・令和4年度の調査地点(6カ所) 安里又川上流 池原橋 前田橋 武川良橋下流 大子橋 新垣橋</p>		 		↑ 水質調査の様子 ↑		
実施内容	<p>★自動車交通騒音測定委託料 627千円 居住環境の保全に役立てるため、町内の要所3地点を選んで、時間毎の道路の自動車交通騒音を 測定し、実態の把握に努めました。</p>						
	<p>・実施日 令和5年3月8日～9日</p> <p>・実施時間 昼間(6時～22時)、夜間(22時～6時)</p> <p>・令和4年度測定地点(3カ所) 国道329号(字兼城603番地) 国道329号(字宮平666番地1) 国道507号線(字津嘉山1321番地1)</p>		 		↑ 測定の様子(字兼城) ↑ 測定の様子(字宮平)		
事業の成果	<p>定期的な公害防止等パトロールを実施することで、公害の有無確認と発生の抑止に努めました。重点 的に確認している周辺河川の目立った水質汚濁は可視範囲内で見られず、水質調査においても夏 季・冬季とも水質環境基準を概ね満たしていました。 国場川水系河川水質調査、自動車交通騒音測定を行うことで、国場川水系の水質実態把握及び自 動車騒音の限度を定める省令の基礎資料を得ることができました。</p>						
予算の 執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,195	1,153				1,153	


令和4年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	指定ごみ袋還元基金事業		予算	会計	一般会計	01
部 課	総務部 住民環境課	課長名	金城 直子	款	衛生費	04
連絡先	889-1797		科	項	清掃費	02
目 標	環境と共生する美しく住みよいまち		目	目	塵芥、し尿処理費	01
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
	町民や町内事業所等		町の指定ごみ袋の売上収入を基金として積立て、ごみの資源化や減量化を推進することや、環境保全活動の助成を行うことで、快適な生活環境づくりをめざしていきます。			
事業の実施内容	<p>★ 生ごみ処理機等購入補助金 147千円</p> <p>ごみの資源化・減量化の一環として、生ごみ等の自己処理を推奨し、堆肥化を促進するため生ごみ処理機等購入補助金を交付しています。令和4年度は処理容器5世帯、処理機7世帯に補助金を交付しました。</p> <p>★ エコセンター運営費 3,409千円</p> <p>リサイクル情報の収集・提供、環境講座や環境学習ツアー、学校制服や体育着の再利用など、リサイクルの普及・啓発活動の拠点として、はえばるエコセンターを運営(委託)しました。</p>					
	 <p>宮平川の生態系観察</p>		 <p>クバの葉でカゴ作成</p>			
	<p>★ 資源ごみ集団回収等事業報償金 183千円</p> <p>資源の有効利用とリサイクルの推進を図るため、資源ごみ集団回収団体に報奨金を交付しています。令和4年度は18団体に報償金を交付しました。</p>					
事業の成果	<p>生ごみ等処理機の購入補助を通してごみの堆肥化・減量化を促進し、ごみ減量に関心をもってもらうことができました。エコセンターでは、リサイクル情報の収集・提供、講座等を行っています。その活動を通して、循環型社会、豊かな自然環境の保全へ向けての普及・啓発活動の拠点となっています。環境教育・環境学習により、環境保全に対する子ども達の関心を高めることができました。また、資源ごみ集団回収団体へ報奨金を交付することにより、資源の有効利用とリサイクルの推進を図ることができました。</p>					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
	4,239	3,739	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
					3,739	0

令和4年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	ごみ処理対策事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	総務部 住民環境課	課長名	金城 直子	算	款	衛生費	04
連絡先	889-1797		科	項	清掃費	02	
目 標	環境と共生する美しく住みよいまち		目	目	塵芥、し尿処理費	01	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	町民及び町内にある事業所などから排出される一般廃棄物		廃棄物の分別を推進し排出を抑制するとともに、再資源化を図り、適正処理することで町民の快適でうるおいのある生活を確保します。				
事業の概要	歳出部門						
	<p>1 家庭系ごみの処理にかかる経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 家庭系ごみ収集・運搬委託料(4者へ委託) 38,400千円 ★ 那覇市・南風原町環境施設組合負担金 127,282千円 ★ 町指定ごみ袋作成費(印刷製本費) 18,916千円 ★ ごみの指定袋販売委託料 6,031千円 						
事業の実施内容	 <p>ごみ収集の様子</p>		 <p>ごみ収集の様子</p>				
	<p>2 資源・粗大ごみの処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 資源ごみ収集・運搬委託料(ワークプラザ南風へ委託) 19,319千円 ★ 資源ごみ分別委託料(ワークプラザ南風へ委託) 14,250千円 ★ 粗大ごみ収集・運搬委託料(ワークプラザ南風へ委託) 1,330千円 ★ ソファ・マットレス処理委託料(ワークプラザ南風他へ委託) 737千円 ★ 粗大ごみ処理券販売委託料 268千円 ★ 草木処理委託料(草木を堆肥化しています。一括交付金) 7,522千円 ★ 施設使用料(那覇市へ草木処理ヤード使用料) 89千円 ★ 計量手数料(草木計量時) 170千円 ★ 容器包装びん再商品化委託料(PETボトル・色ビン等の処理) 182千円 ★ 産業廃棄物処理委託料 73千円 ★ その他経費 2,005千円 <p>3 其他のごみ処理費</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 町内一斉清掃ごみ処理手数料(草木堆肥化等) 2,336千円 ★ 一斉清掃ごみ運搬車使用料 435千円 ★ 動物死骸処理手数料 41千円 						
事業の成果	歳入部門						
	<p>1 手数料収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 一般廃棄物許可手数料 30千円 <p>2 諸収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 資源ごみ売上収入(カン・ビン・古着・廃食油) 4,410千円 ★ 粗大ごみ処理券収入(粗大ごみシール券300円・600円の売上) 3,781千円 ★ ごみ袋指定化収入(可燃・不燃ごみ袋の売上) 47,986千円 						
事業の成果	<p>廃棄物処理法第4条では、「市町村はその区域内における一般廃棄物の減量に関し住民の自主的な活動の促進を図り、及び一般廃棄物の適正な処理に必要な処理に必要な措置を講ずるよう努める…」とあり、一般廃棄物の処理は町民の日常生活にもっとも密着した行政サービスの一つであります。町民へ廃棄物減量を推進するとともに一般廃棄物の適正処理も実施することができました。</p>						
	予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
	247,490	239,386	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				17,759		36,901	184,726

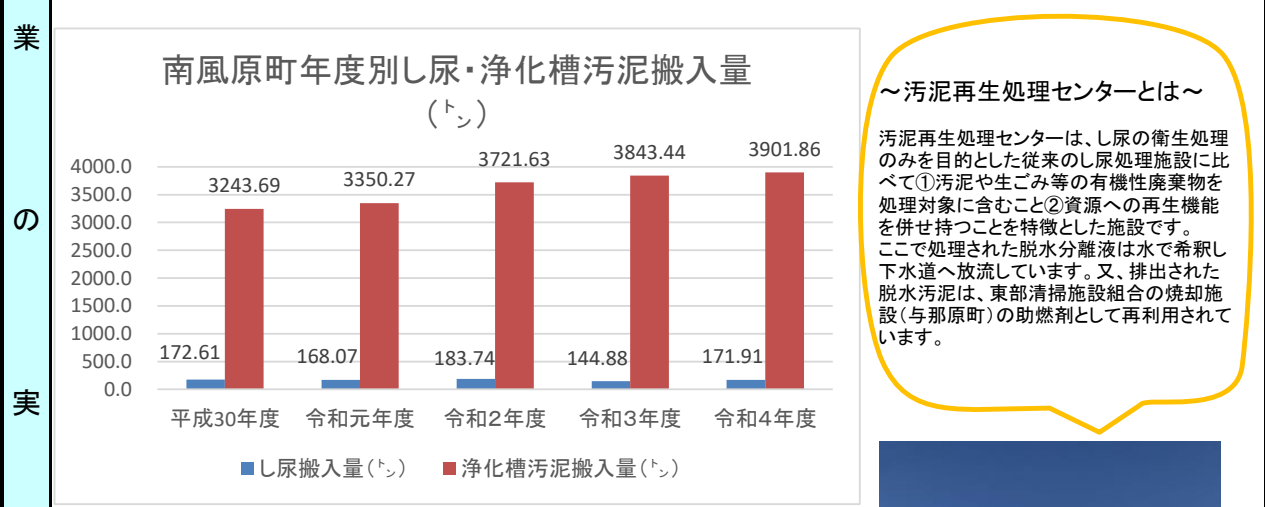
令和4年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

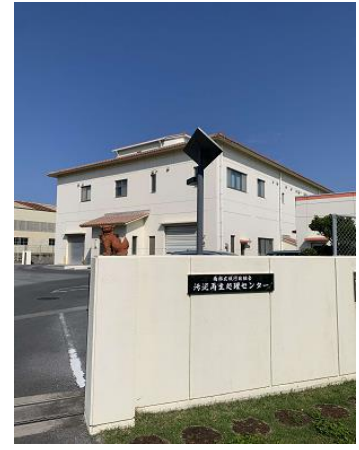
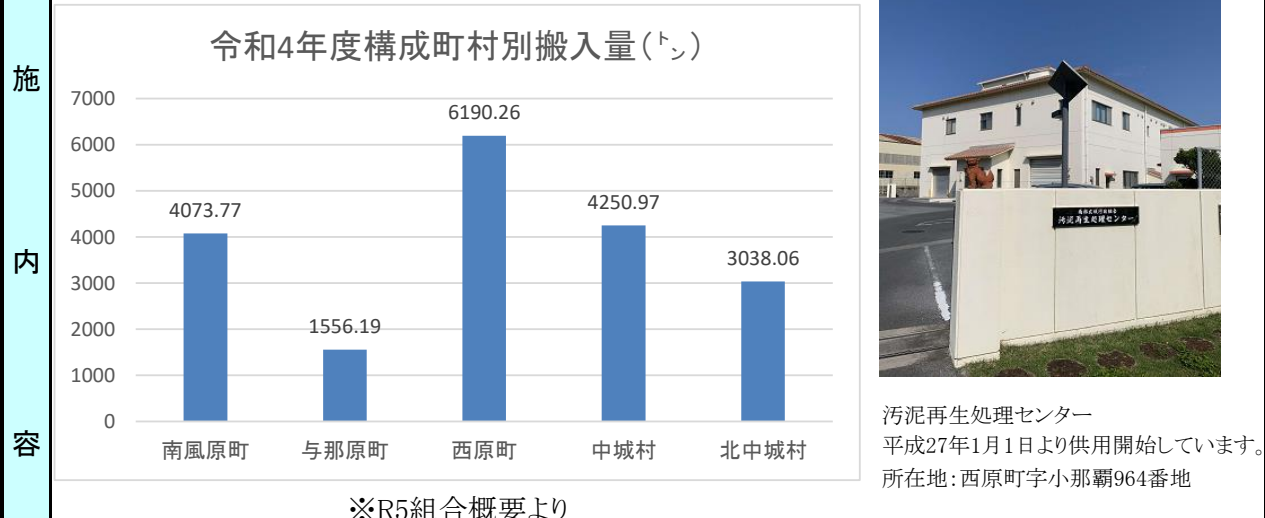
事業名	し尿処理対策事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	総務部 住民環境課	課長名	金城 直子	算	款	衛生費	04
連絡先	889-1797		科	項	清掃費	02	
目 標	環境と共生する美しく住みよいまち		目	目	塵芥、し尿処理費	01	

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	下水道の整備されていない地域等のし尿・浄化槽汚泥	し尿・浄化槽汚泥を適正に処理し、環境汚染を防止し清潔な住環境を確保します。

★ 南部広域行政組合負担金(汚泥再生処理センター) 30,743千円
 負担金は施設の運営費や、起債の償還に充当しています。
 ※南風原町内の浄化槽世帯、くみ取り世帯又は建築現場の仮設トイレや事業所の浄化槽汚泥は、町内許可業者が収集運搬を行っており、処理は西原町にある汚泥再生処理センターで処理されます。浄化槽は定期的なくみ取りと、設置者の適正な維持管理が大事です。ブロワーを止めたり、長期間くみ取りを行わないと悪臭の原因になりますので皆様のご協力をよろしくお願い致します。



～汚泥再生処理センターとは～
 汚泥再生処理センターは、し尿の衛生処理のみを目的とした従来のし尿処理施設に比べて①汚泥や生ごみ等の有機性廃棄物を処理対象に含むこと②資源への再生機能を併せ持つことを特徴とした施設です。ここで処理された脱水分離液は水で希釈し下水道へ放流しています。又、排出された脱水汚泥は、東部清掃施設組合の焼却施設(与那原町)の助燃剤として再利用されています。



汚泥再生処理センター
 平成27年1月1日より供用開始しています。
 所在地:西原町字小那覇964番地

事業の成果
 し尿及び浄化槽の汚泥を適正に処理し、環境と公共水域の環境保全を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	30,743	30,743	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
							30,743